

東海道五十三次を往く

第12回

由比宿

広重の描いた絶景を
今なお残す宿場町

西に東海道の難所として知られる薩埵(さつた)峠を控える由比宿は、長さ600mと小規模ながらも、峠越えを前に滞在する旅人が多く、にぎわいのある宿場町であったという。駿河湾沿いを走る東名高速道路や国道1号線、JR東海道本線よりも山側に延びるのが、旧街道。所々に江戸時代の道幅が残り、歴史を感じる街道沿いには、本陣跡を整備した由比本陣公園を中心に、史跡や趣のある町家が立ち並ぶ。

由比本陣公園

本陣跡を復元・整備して公開された。表門、木塀、石垣、井戸、物見塔などに、往時の雰囲気を感じる。敷地内の東海道由比宿交流館や、静岡市東海道広重美術館にも、ぜひ立ち寄りたい。

東海道由比宿交流館
☎054-375-5166
静岡市清水区由比297-1
☎9時～17時 (休)月曜(祝日の場合は翌日)



薩埵(さつた)峠

展望台から、駿河湾と富士山の絶景を望む。歌川広重が描いた風景そのままを楽しめる、数少ないスポット。



県道との分岐点

JR東海道本線蒲原駅を過ぎ、東名高速道路の高架をくぐると、神沢の交差点で、道は県道396号線(右)と、旧街道(左)とに分かれる。



御七里役所跡

紀州徳川家が、江戸～和歌山間に7里(28km)ごとに設置していた飛脚の中継ぎ役所跡。

由比川橋

歩道には天然木が敷かれている。江戸時代は、仮板橋で、川が増水すると橋を取りはずしていた。



交流館で江戸気分を満喫♪



ミス編集部が巡る東海道五十三次。今号は、16番目の宿場町、由比へ。江戸の面影を残す建物や史跡が数多く残る街道を歩きました。



おみやげ

春巻製菓

☎054-375-2310
静岡市清水区
由比北田92
☎8時～18時
(休)月曜

たまご餅 10個入り 756円

「東海道中膝栗毛」にも登場する、由比名物「さとう餅」がルーツ。上質な餡と上新粉を使ったやわらかな餅が美味。



正雪紺屋

江戸初期から400年以上続く紺屋(染物屋)では、昔ながらの道具や仕事場を見学することができる。「慶安の変」で知られる由比正雪の生家。

☎054-375-2375
静岡市清水区由比68
☎9時～17時
(休)不定休



せがい造り

由比の町家に多く見られる建築様式で、軒先を長くするために、軒下に出桁を設けたもの。

